

「迷い出た者を連れ戻す恵み」ヤコブ5：19, 20 12・2・19 「あなたがたのうちに、真理から迷い出た者がいて、だれかがその人を連れ戻すようなことがあれば、罪人を迷いの道から引き戻す者は、罪人のたましいを死から救い出し、また、多くの罪をおおうのだということを、あなたがたは知っていなさい」：19, 20。Ⅰこの御言葉の意味。「信仰から迷い出た者」とは、素晴らしい主を信じて信仰に入った後に、主との関係、真理から迷い出た者を指す。主にある私たちが、主にある真理の中で共に成長することは、霊的目標であり喜び。と同時に、主と真理から迷い出た者があるなら、主に立ち返るように心から祈る事が大切である。これは、すべてのキリスト者の務め。：19の「連れ戻す」という言葉は、ルカ22：32では、主がペテロに言われた言葉、あなたは、「立ち直ったら」と訳されている。主が、三度主を知らないと言うペテロの為に祈られた。「わたしは、あなたの信仰がなくならないように、あなたのために、祈りました。だからあなたは、立ち直ったら、兄弟たちをカづけてやりなさい」。ペテロは、その直後言った。「主よ。ごいっしょなら、牢であろうと、死であろうと、覚悟はできております」(22：33)。彼は、自分の弱さにまだ深く気づいていなかった。その後彼は、主を知らないと言ってしまう。しかし主は、彼を、そして弱さと失敗の多い私たちを見捨てられない。「主が振り向いてペテロを見つめられた(深い深い愛をもって)。ペテロは、『きょう、鶏がなぐまでに、あなたは、三度わたしを知らないと言う』と言われた主のおことばを思い出した。彼は、外に出て、激しく泣いた」(22：61, 62)。12使徒の代表格であるペテロの失敗と回復が記されている聖書は、全世界の教会と私たちへの励まし。弱さのある私たちは、互いの為に祈りたい。また、信仰から離れている人々、離れかけている人々の為に、神を信頼し、心から祈りたい。神に自分の罪を告白し赦しを受けた「義人の祈りは働くと、大きな力があります」5：16。「罪人を迷いの道から引き戻す者」は、神がなさる二つの大事業に参与する。①「罪人のたましいを死から救い出し」。罪人のたましいを死(いのちの神から離れた状態)から救い出し、神との交わりを回復させる。②「多くの罪をおおう」。私たちのあきらめずに祈る祈りに神が答えられ、主から離れていた人が神に立ち返り、「私のこれまでの罪を赦して下さい」と祈るなら、主の十字架の血の恵みの故に、その人の多くの罪が主の十字架の血の恵みでおおわれ、赦される。それは、神の恵みの結果であり、決して私たち人間にできることではない。ただ私たちがなすべき分を神は与えておられる。それは、一人一人の信仰の回復の為に祈る事である。このヤコブの手紙の終わりの御言葉は、素晴らしい勧めと慰めに満ちている。Ⅱ大きな励まし、慰め、恵み。1. 罪人のかしらである私たち自身が、洗礼を受けて今日まで、主から離れないで支えられているの

は、神の恵み、憐みのおかげ！奇跡的な恵みである！私は、本音で、そう思う！「私たちが滅びうせなかったのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ」（哀歌 3：22）。私たちは、罪の誘惑に弱く、いかに、主から離れやすいことだろうか。にもかかわらず、今あるのは、神のおかげ、そして他の人々の祈りの支えのおかげである。「私たちのために祈ってください」（コロ 3：1）と互いに祈りの支援の要請をしたい。神の恵みと人々の祈りの支えをいつも忘れず感謝したい。そして祈り続けたい。主から離れている人々の回復の為に。ある人々は、信仰を回復し主に仕えている。2. 迷いやすい霊的な羊である私たちを探し続けて下さる主、羊飼い。私たちの存在を喜んで下さる主。「あなたがたのうちに羊を百匹持っている人がいて、そのうちの一匹をなくしたら…いなくなった一匹を見つけるまで捜し歩かないでしょうか。見つけたら、大喜びでその羊をかついで、帰って来て、友だちや近所の人たちを呼び集め、『いなくなった羊を見つけましたから、いっしょに喜んでください』と言うでしょう。…それと同じように、ひとりの罪人（私たちを含む）が悔い改める（神に立ち返る）なら、…喜びが天にあるのです」（ルカ 15：4～7）。「私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼（イエス様）に負わせた」（イザ 53：6）。祈り：「私は、滅びる羊のように、迷い出ました。どうかあなたのしもべを捜し求めてください。私はあなたの仰せを忘れません」（詩 119：176）。3. 「それでもなお（大きな罪を悔い改めるように忠告しても）、言うことを聞き入れようとしないなら、教会に告げなさい。教会の言うことさえも聞こうとしないなら、彼を異邦人が取税人のように扱いなさい（教会戒規、除名）」（マタ 18：17）の文脈に続く御言葉→「もし、あなたがたのうちのふたりが、どんな事でも、地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます」（18：19）。神は、祈りを聞いて下さる。私たちは、主から離れているメンバーの霊的な回復の為に心から祈りたい。4. 地上にいる私たちの祈りを心の中で助けて下さる「聖霊なる神」と恵もうと待っておられる「父なる神」に、私たちの祈り、願いを天で、取り次ぐ、届ける、とりなす大祭司（神と人の仲介者）「キリストなる神」がおられることを深く覚え心から感謝したい。「御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が…私たちのためにとりなしてくださいませ」ローマ 8：26。「罪に定めようとするのはだれですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、私たちのためにとりなして下さるのです」8：34。三位一体の神の励ましを受け、あきらめず、人々の救いと信仰の回復の為に祈り続けよう。